

6月レポート

2020年卒業生 前川愛実

オーストラリアは、日本と季節が反対で六月は本格的に冬になり、毎日寒いです。

今月は、新しくできた小学生のキャンパスに初めて行くことができました。小学生のクラスでは、ティーチャートークなどで、身近にある簡単な単語でも意外と知らない英単語が使われていることが多く、アシスタントとしての経験と同時に英語の勉強にもなるのでとても楽しいです。小学生は積極的に挨拶やいろいろな話をしてくるので、自分の英語を心配せず、緊張せずに話すことができるので、積極的になれますが、高校生と話すと少し心配になってしまう時があるので、英語を頑張らないとと感じます。

学期の後半には生徒たちにおにぎりの作り方を教える授業があり、みんなで塩むすびと焼きおにぎりを作りました。日本の文化や食文化を学ぶ時間があると、生徒たちはとても楽しそうにしているので、こっちまでうれしくなります。

アシスタントの仕事では、休日生徒と遊ぶことが禁止されているので友達を作ることとはとても難しく少し寂しく思うこともありますが、休日にはホストファミリーや学校の先生たちと出かけたりすることがあるので、楽しく過ごせています。

電車で一時間くらい行くと、メルボルンという大きな街があるので、休日に買い物に行ったりすることができます。メルボルンには、無印良品やダイソーなど日本ブランドのお店がたくさんあるので、少し高いですが、日本のものが恋しくなった時でも手に入るので便利です。

